

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 6 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2013～2015

課題番号：25301008

研究課題名(和文) 東南アジアの資源をめぐる国家・社会関係に関する比較研究

研究課題名(英文) State Society Relations in Natural Resources of Southeast Asia

研究代表者

佐藤 仁 (SATO, Jin)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：50313010

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,400,000円

研究成果の概要(和文)：東南アジアをフィールドとして、天然資源をめぐる国家と社会の関係を理論的に考察し、その成果を英文雑誌論文や書籍の形でまとめた。具体的には、カンボジアでの漁業政治、プリンストン大学におけるミャンマーとフィリピンに関する灌漑の文献調査を行い、成果の一部をシェフィールド大学(2015年5月)、およびヨーロッパ東南アジア学会(2015年8月)、さらに東南アジア国際学会(2015年12月)の場で報告する機会を得た。論文としては、学術雑誌 Comparative Studies of Society and History に掲載され、日本語では岩波書店から共著『日本のコモンズ思想』に1章を書いた。

研究成果の概要(英文)：Conducted theoretical as well as empirical research on the state society relations in Southeast Asia through the lens of natural resources management. Fieldwork was conducted in Cambodia to do a study on fishery politics in Tonle Sap Lake while archival research was done at the library in Princeton University. Result of my research is orally presented at the International Workshop in Sheffield University (May 2015), Euro Southeast Asian Conference in Vienna (August 2015), and Southeast Asian Studies Conference in Kyoto (December 2015). Articles have been published in journals such as Comparative Studies of Social and History, International Journal of the Commons, Journal of Development Studies as well as other book chapter contributions in Japanese.

研究分野：地域研究、資源論

キーワード：資源 政治 東南アジア

1. 研究開始当初の背景

経済成長の著しい東南アジア地域では、自然環境の劣化や搾取も甚だしい。しかし、そうした資源・環境問題を取り上げるにあたって特定の当事者を取り上げて非難してみても、有効な政策立案にはつながらない。様々なアクターが資源環境をめぐるどのように利害を協調させたり、対立させたりするのか、という歴史的、文脈的な理解が不可欠だからである。

そこで、いくつかの事例対象国を選び、それらの国々で資源環境を管理する体制がどのように組みあがるのか、また組みあがった国家制度に対する人々の抵抗がどのように組織化されるのかを調査してみたいと考えられるようになった。

アジアの資源環境研究は、生態学を中心とする自然科学系と、人類学や農村社会学に立脚したコミュニティ資源管理研究を行う社会科学系とに分断されており、国家政策の歴史を扱う分野が育っていない。国家は、これからの資源環境研究の在り方に大きな影響を及ぼすという考えから、東南アジアをフィールドとした資源管理の比較史を実施することにした。

2. 研究の目的

一国の天然資源、特に一般大衆が日常的に依存する生活資源の管理のあり方は、その国の政府と社会の関係をどのように構築していくのか。この問いに、東南アジア諸国の資源行政史から応えようとするのが本研究である。環境保護を名目に森林、水、土地、気候などの多様な領域に国家の積極的な介入が試みられるようになった今日、それらの介入の政治的影響を考慮した研究は少ない。

本研究では、近代国家の形成が異なる道筋をたどったタイ、ビルマ、カンボジアの三国を事例に、天然資源の保全に関する行政制度と資源管理技術の発達形態を比較分析する。特に森林や水と言った資源が管理される過程で生じる労働管理の基準や制度、あるいはそれに対する民衆の反発を研究することで、各国でどのような国家・社会関係が形成され

たのかを考察した。この研究を通じて、資源をととした今日の統治が人間社会の統治へと変貌する様を実証的に明らかにし、「資源環境問題史」に基づく今日の政策課題のルーツを地域研究のまなざしから特定する。

3. 研究の方法

研究の方法は、公文書館等での歴史にかかわる文献調査と、タイやカンボジアにおける現地調査を実施した。タイでは国立公文書館での資料を中心に閲読し、官僚などへのインタビューを実施した一方で、カンボジアでは公文書館に加えて、トンレサップ湖における漁業コミュニティを対象にしたフィールドワークを実施した。また、ビルマとフィリピンの灌漑に関する国家政策の歴史を調べる目的で、プリンストン大学の図書館での文献調査も実施した。

東南アジアの資源環境政治をめぐる国際的な共同研究のネットワークを構築するために東京と英国シェフィールドの二か所で国際ワークショップを実施し、アメリカ、イギリス、デンマーク、フィリピン、日本の研究者らを集めて研究発表会を実施した。一連の会合から、将来の「資源政治学」に関する英語の教科書を執筆する計画も具体化しつつある。

また「事例研究」という方法論を資源環境研究に当てはめた場合の射程についても考察した。特に、統計的な研究に比べて「格下」とみられがちな事例研究の特筆をあぶりだすための既往研究のレビューを行い、下記文献の「比較歴史分析の可能性」を執筆した。

一連の研究を介して、これまで途上国研究で重視されてきた「自立」ではなく、新しい依存の形式を考えていくことは、大きなブレークスルーになるのではないかという発想に至った。今後は、この可能性をさらに探求していきたい。

4. 研究成果

研究成果は、日本語での著作執筆に加えて英語の論文としてまとめることに注力し、一定の国際的評価を得ているジャーナルでの掲載を実現することができた。また、国際学会での発表を積極的に行い、海外の研究者からのフィードバックをもらえるように努力した。具体的にはウィーン、プリンストン、京都の3か所で国際的な聴衆を相手に英語による研究発表を実施している。

研究ネットワークの構築にも注力した。論文執筆に先立って、シェフィールド大学(2015年5月)およびヨーロッパ東南アジア学会(2015年8月)さらに東南アジア国際学会(2015年12月)の場で報告する機会を得た。成果論文と特筆できるのは、歴史・人類学系で高い評価を得ている Comparative Studies of Society and History に論文掲載を果たすことができたことである。また日本語では、岩波書店から共著『日本のコモンズ思想』に1章を分担執筆した。

この研究の過程で構築できた海外の研究者とのネットワークによって、たとえば欧米短期の枠組みを用いた研究協力者の招へい(シェフィールド大学のNem Singh 博士)や、英語による教科書執筆のプロジェクトが進んでいる。今後、この科研で培われた研究ネットワークを活用し、国際標準となる教科書の執筆、大規模なワークショップの実施、東南アジアでこれまで研究できてこなかったベトナムなどの諸地域での実態調査などを加えていき、地域研究に立脚した資源環境研究をさらに盛り上げていきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

Thol Dina and Jin SATO, The Cost of Dividing the Commons: Overlapping Property Systems in Tonle Sap, Cambodia, *International Journal of the Commons*. Vol.9, No.1, 2015, pp261-280. 査読有

佐藤仁「比較歴史分析の可能性 東南アジアの天然資源と国家・社会関係の比較分析に向けて」『経済発展過程における資源環境政策研究会報告書』, アジア経済研究所, 2015年, pp32-42. 査読無

Thol Dina and Jin SATO, Is Greater Fishery Access Better for the Poor? Explaining De-Territorialisation of the Tonle Sap, Cambodia, *Journal of Development Studies*. Vol. 50, No. 7, 2014, pp.962-976 査読有

Jin SATO, Resource Politics and State-Society Relations: Why are certain states more inclusive than others? *Comparative Studies in Society and History*. Vol.56, No.3, 2014, pp.746-777. 査読有

佐藤仁「環境統治の時代 アジアにおける天然資源管理と国家・社会関係」『学術の動向』, 2014年, Vol.19, pp.74-77. 査読無

佐藤仁「危機と分業 E.アッカーマンに学ぶ国土資源への総合的接近」『政策・経営研究』, 2014年, Vol.1, pp.1-15. 査読無

[学会発表](計4件)

佐藤仁, 東南アジア灌漑における国家社会関係, 東南アジア研究コンソーシアム国際大会, 2015年12月12日-13日, 京都大学(京都府京都市)

Jin SATO, Compulsion to Maintain; Water and State power in Southeast Asia. 8th European Southeast Asian

Studies Conference, 2015年8月1日
-14日、ウィーン(オーストリア)
Jin SATO, Color of the State,
International Workshop on Resource
Politics, 2014年9月13日, 東京大学
(東京都文京区)
Jin SATO. Color of the State: Sequence
of Environmental Interventions in
Southeast Asia, East Asian Studies
Department Colloquium. April 22, 2014,
プリンストン大学, プリンストン市(米
国)

〔図書〕(計2件)

佐藤仁 「カンボジア・トンレサップ湖
における漁業と政治 2012年漁区シス
テム完全撤廃の社会科学的評価 - 」 寺
尾忠能 編 『「後発性」のポリティクス -
資源・環境政策の形成過程-』 2015年、
アジア経済研究所、223ページ
(pp.99-120.)
佐藤仁 「自然の支配はいかに人間の支配
へと転ずるか コモンズの政治学序説」
『日本のコモンズ思想』(秋道智彌 編)
2014年、岩波書店、296ページ
(pp.176-194.)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐藤 仁(SATO, Jin)
東京大学・東洋文化研究所・教授
研究者番号：50313010

(2) 研究分担者 なし

(3) 連携研究者 なし